

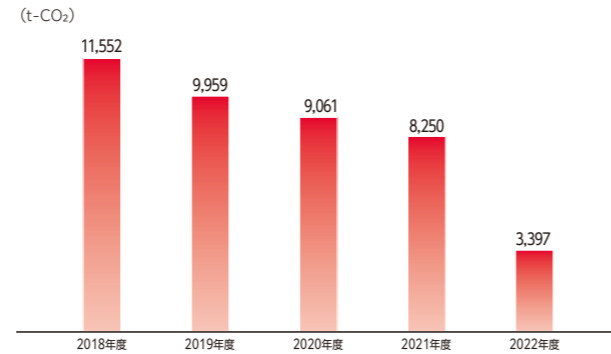
環境に配慮した企業活動の推進

近年、地球温暖化などの環境問題が深刻化しており、CO₂をはじめとした温室効果ガスの削減など、環境に配慮した企業の取り組みが求められています。当社は社会の一員として、限りある資源を有効に活用し、企業活動による環境負荷を低減するだけでなく、社会貢献活動としての環境保全活動にも積極的に取り組みます。

● 自社GHG排出量ネットゼロへの取り組み

当社の事業は燃料を使用することがなく、Scope1の排出がないため、Scope2の排出量の削減に注力しています。2022年6月末には、電力会社と当社が直接契約している店舗・拠点(約630店、3拠点)の使用電力を全て再生可能エネルギーに切り替えました。現在は、管理会社が電力契約を行っている店舗・拠点について、再生可能エネルギーに順次切り替えています。また、Scope3の排出量についても開示できるように、算出に向けた態勢整備を行っています。

CO₂排出量 (Scope1+2)



※2022年度より集計方法を変更



● カードレス取引機能の拡充

商品・サービスを通じた環境負荷の低減という観点からは、カードローン及びクレジットカードのカードレスでの取引機能をご用意しています。

カードローンでは、セブン銀行のATMに表示されるQRコードをスマホアプリで読み込むことにより、カードレスで入出金ができます。クレジットカードは、アプリ上でバーチャルカードを発行することにより、ECサイトなどでショッピングをお楽しみいただけます。また、Apple Pay®、Google Pay™に対応しており、リアルチャネルでもカードレスでご利用いただけます。そのほかにも、お客さま名義の金融機関口座への送金や、インターネット返済、口座振替(自動引き落とし)など、カードレスでご利用、ご返済いただける手段をご用意しています。カードローン、クレジットカードともにカード発行せず

にご利用いただくことで、プラスチック使用量を削減することができます。

今後も、お客さまの利便性の向上を図るとともに、限りある資源の使用量の抑制に取り組めます。



● ペーパーレス化の推進

お客さまへの交付書面の一部をペーパーレス化(電子化)することで、お客さまの利便性の向上を図るとともに、資源の使用量を抑制しています。交付書面を電磁的な方法で受け取ることを希望されているお客さまは、ご契約関連書類やお取引に伴う各種明細書を会員サイトからのダウンロードにより受け取ることができます。

社内においても、各種申請手続き、給与明細書、社内広報誌、取引先と締結する契約書などの電子化に取り組んでおり、資源の使用量を抑制しています。また、効率的な会議運営と環境保護を目的に、各種会議体のペーパーレス化を推進しています。

● 森林保全活動「アコムの森」

温室効果ガスの削減、生物多様性保全などを目的として、森林保全活動「アコムの森」を開始しました。「企業の森づくりサポート制度」を利用して、当社のコンタクトセンターのある神奈川県、大阪府とそれぞれ協定を締結しました。

本活動は、社員ボランティアが森林の整備を行うことで、健全な森林の整備・保全に貢献します。神奈川県では主に枝打ち*1や間伐*2、大阪府では下草刈り*3や植樹を行っています。

本活動を通じて、神奈川県・大阪府の環境整備・保全を行うとともに、社員の環境意識の醸成に取り組んでいます。

※1 余分な枝を切り落とす作業

※2 過密となった木々の一部を伐採し、適度な間隔をつくる作業

※3 植えた苗木が成長するまでの間、周りの雑草や雑木を刈り払う作業



アコムの森 (神奈川)

アコムの森 (大阪)

枝打ち

社員インタビュー

自社で契約する使用電力を再生可能エネルギーへ切替え

営業推進部
営業管理チーム 主任
秋葉 勇志



Q. 取り組みの背景を教えてください。

CO₂をはじめとした温室効果ガスの削減など、環境に配慮した取り組みが企業として求められる中、営業現場で働く社員の提案がきっかけとなり、営業拠点の省エネ化を検討するようになりました。当初は、ソーラーパネルの設置や照明のLED化などの案が出ていましたが、費用や実用面で課題があったことから、自動契約コーナーの使用電力を再生可能エネルギーへ切り替える検討を開始しました。再生可能エネルギーに切り替えることで、従来よりも電気料金が上昇するため、私は契約先の選定及び価格交渉に尽力し、自社で契約していた約630ヶ所の自動契約コーナーの使用電力を再生可能エネルギーへ切り替えることに貢献できました。

Q. これから挑戦したいことはありますか？

環境に配慮した取り組みとして、ペーパーレス化を推進していきたいと考えています。全社で推進している業務効率化の担当者として、営業本部内で使用している紙帳票などの廃止及び電子化に取り組んできました。2022年度は、約50件のペーパーレス化を推進することができましたが、まだまだペーパーレスにできる紙帳票があるので、積極的に推進していきたいです。そのほかにも、営業現場の声をヒアリングしながら、業務のロボット化を推進し、業務負担の軽減や不備の防止に取り組んできました。これからも営業現場の皆さまが安心してお客さま対応できる環境を整えていきます。